

インドネシア

ドマイ港開発事業



ドマイ港荷役設備

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	4,375百万円 / 4,107百万円
借 款 契 約 調 印	1989年12月
借 款 契 約 条 件	金利2.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1996年5月

[事 業 概 要]

スマトラ島リアウ州において唯一の港湾であるドマイ港を整備・拡充することにより（一般貨物用岸壁の新設、付属設備建設、荷役機器調達等）同島の主要輸出品目であるパームオイル等の貨物量の増加に対処するもの。

[評 価 結 果]

本事業の完成（1996年）により、ドマイ港の貨物取扱能力は事業実施前の70万トン／年から150万トン／年へと増強された。

本港の取扱貨物の約8割、搬出貨物の約9割をパームオイルが占めるが、リアウ州におけるパームオイルの生産が急速に増加したことを背景として、本事業の完成後、取扱貨物量は約60%増加し、2000年には取扱能力を大きく上回る400万トンまで増加した。このうち、輸出貨物は約300万トンであり、完工時の約130万トンに対し2.3倍の規模となっている。このように、本事業は、後背地域におけるパームオイルの生産・輸出増加に寄与したものと評価される。

なお、施設の維持管理については財務・体制面を含め特段の問題はないが、今後とも見込まれる貨物需要に対処するためには、本港設備の一層の効率化・拡充が必要になるものと考えられる。